

# 産業力と居住機能を開発で強化

古賀市長

## 田辺かずき 市政報告

オール古賀を実践！  
まちづくり推進中！

### 工業・物流団地造成、古賀駅東口も

#### 農業基盤整備の拡大を検討

次世代にこのまちをより豊かにかたちでつなぐ。昭和、平成の時代を経て、これから半世紀を見据えた「まちの改造・再編」を進めるべき節目にあります。古賀市の持続可能性を高めるため、産業力の強化を公約に掲げて2018年12月に市長に就任して以来、工業・物流団地の整備を推し進めてきました。あれから6年余り。「あそこにはなんができるか？」。各地で造成工事が見えるようになって

#### 6カ所で開発が進行

市議会、福岡県・県議会の多大なるお力添えを得て、現在、古賀グリーンパーク前の青柳釜田地区は造成を終え、既存工業団地を四半世紀ぶりに拡張する今在家地区、九州自動車道古賀インターチェンジ直近の新原高木地区、筑紫野古賀線へのアクセス性も高い青柳大内田地区で工事が進んでいます。この4か所に加え、今在家地区に隣接してさらに工業団地を拡張する青柳迎田地区、移住・定住の受け皿としての居住機能を強化する古賀中学校周辺の新久保南地区の

2カ所についても2026年度末の都市計画の変更に向けた手続きに入っており、計6カ所で開発を進めています。

#### 古賀駅周辺の活性化

##### まちづくりの「1丁目1番地」として、JRR古賀駅

周辺を中心市街地活性化を推進しています。東口エリアは、駅からリーパズプラザがまで「公園」で直結し、住みやすく、歩きやすく、心地よく過ごせるウェルビーイングでウォークアブルな空間を軸として、買い物や子育て、健康づくりなどを楽しめる場に生まれ変わらせます。まずは道路と公園の計画をつくり、その後、エリアの用途について工業から住居や商業への転換を図ります。また、3D都市モデルを活用して将来のまちの姿を再現し、市民の皆さんに具体的に理解を深めてもらえるようにします。

#### 新たな体育館を千鳥ヶ池公園に

これに伴い、市民体育館を千鳥ヶ池公園に移転し、新たな体育館を建設します。さらに、市民グラウンドに新たな駐車場を整備するための調査を進め、現在のスポーツ機能については、公園などの公有地の活用や古賀中学校周辺開発との連動を念頭に、別のエリアへの移転・集約を検討します。こうした大規模な再編は、今年度策定を進めている公園再整備基本方針の具現化の一環でもあり、まずは千鳥ヶ池公園と古賀グリーンパークの基本設計に着手します。

#### 農業の持続可能性を高める

都市と自然の調和の観点から、農業の振興も重要です。持続可能性を高めるため、農産物の生産現場へのデジタル技術の実装を進めると共に、基盤整備による生産の効率化も求められ

ています。小野南部地区に続き、薦野清滝地区を対象エリアとして整備を進め、新たに筵内地区に広げていくことができるよう地元との調整を図ります。



古賀駅東口開発の将来イメージ。写真左が古賀駅、右がリーパズプラザこが



YouTube「田辺かずきチャンネル」ぜひご登録を！



YouTubeチャンネルのQRコードです。チャンネル登録と「いいね」、さらに多くの皆さんへのシェアをお願いします。これまでのブログやFacebook、X(Twitter)、Instagram、noteとあわせ、よろしくをお願いします。

YouTubeチャンネルのQRコードです。チャンネル登録と「いいね」、さらに多くの皆さんへのシェアをお願いします。これまでのブログやFacebook、X(Twitter)、Instagram、noteとあわせ、よろしくをお願いします。

東口エリアの動きに連なり、市民の交流拠点である

都市と自然の調和の観点から、農業の振興も重要です。持続可能性を高めるため、農産物の生産現場へのデジタル技術の実装を進めると共に、基盤整備による生産の効率化も求められ

### 田辺かずき公式LINE ぜひ友だち登録を



田辺かずきの公式LINEを始めました。対話集会の開催、YouTubeの配信、市政報告書の発行など田辺の政治活動、後援会からのお知らせなどを配信していきます。ぜひご登録ください！

# 子ども医療費18歳まで完全無償化 子育て支援を充実！

## 教育改革推進、多様な学びを

### 全体育館に空調整備へ

古賀市はチルドレン・ファーストの理念を掲げ、子ども・子育て支援や教育環境の充実を進めています。妊娠・出産・乳幼児期のアウトリーチも含む伴走型支援を充実させつつ、2024年度からは子ども医療費無償化の対象を福岡都市圏で初めて18歳まで拡大しました。

#### 医療的ケア、多胎家庭

子育て家庭を社会全体で優しく包摂し、子どもを産み育てやすい社会にしたい。2025年度から、医療的ケア児の特別支援学校への登校を福祉事業者と連携して支援することで、家族のレスパイトのため、産後ケアや産前産後ヘルパーの内容を拡充し、経験者が伴走、傾聴、助言するピアサポートの実施を検討します。「子ども誰でも通園制度」を国基準の倍の時間を保障し、スタートさせます。

#### 週4日は5時間授業

近年、教育改革を進めています。5時間授業を週4日としたことで、児童生徒は6時間目の授業の負担感から解放され、心にゆとりができ、放課後に友だちと遊んだり、自分のやりたいことや習い事、学習塾に挑戦できたりする時間が確保されています。小中学校全学年での原則35人以下学級は、コロナ禍を経て、ようやく国の方針となりました。今後、インクルーシブ教育を一層推進し、既に着手している小中学校の体育館への空調整備も順次進めます。

#### 保護者負担軽減を拡大

給食の日数を増やすこと、制服や書道セットのリユース、数のおけいこセットの市費購入などを通じて保護者の負担軽減に取り組み、新たに低学年の児童が通学をしやすいよう西鉄バスの定期券購入支援も始めます。「生き抜く力」を育む通学合宿や寺子屋などの地域や子育て支援団体の皆さんによる居場所づくりも活発で、感謝しています。

#### フリースクール助成

近年増加傾向にある不登校については、登校できるようにすることを目標とするのではなく、社会的な自立をめざすことが重要であり、古賀市内の全3中学校区への児童センターの設置や子育て支援団体との連携などで多様な居場所を保障してきました。フリースクールの費用助成を始め、多様な学びを保障します。

#### 主権者教育を推進

子どもたちが「私と社会のつながり」を意識し、その構成員の一人として責任ある行動の主体者となること、誰かを支える存在となることが重要です。給食の時間に私と教育長が教室を訪ねるランチミーティングや「1日市長」、高校生による市長への政策提言を継続し、主権者教育と子どもアドボカシーを実践します。



政策を提言してくれた高校生たちと。右はたかまつななさん

#### シェアリングエコノミーで持続可能な社会へ

人やモノ、場所、時間、スキルなどを共有し、効率化、合理化を図り、社会の持続可能性を高めるシェアリングエコノミー。2023年度から始めた全ての小中学校の水泳授業の民間委託は、民間企業と連携した場所やスキルのシェアで児童生徒の泳力向上、教員の働き方改革を実現し、長期的な財政負担軽減にもつながる先進的なケースとされています。

薬王寺温泉の旅館をサテライトオフィスやコワーキングスペースに改装した「快生館」は、テレワーク、働く場と時間、知見のシェアなど新たな働き方のシンボルに。ワーケーションや企業合宿での利用も広がり、移住定住の促進、関係人口の創出につながっています。地域に暮らしながらデジタル技術を活用して自らのスキルを仕事につなげる「シェアワーカー」も育成。今後、市役所の公用車が使われていない時に市民や来訪者の皆さんが利用できるようにするEVカーシェアリングや、市役所駐車場が使われていない休日、夜間にそのスペースをシェアし出しの貸し出しを進めていきます。

#### 全国の首長、地方議員、国会議員と連携

政治家の全国ネットワークを古賀市のまちづくりにつなげていきます。350人超の首長有志でつくる「活力ある地方を創る首長の会」では事務局長や事務総長代行を務め、菅義偉元総理大臣や河野太郎元デジタル大臣、小泉進次郎元環境大臣とも連携し、新型コロナワクチンの接種促進、ライドシェアをはじめ交通政策の強化などを実現してきました。

公民連携推進全国首長フォーラム、地域共生政策自治体連携機構、医療的ケア児者を応援する市区町村長ネットワーク、教育再生首長会議、子ども基点で考える子育て研究会、全国手話言語市区長会など多くのグループのメンバーとして具体的に提言しています。また、県議時代から大切にしている同世代の政治家のネットワークも古賀市の政策形成につながられています。

#### 公共交通を充実！コガバスが新宮に直結

今年1月、公共施設等連絡バス「コガバス」が初めて市町境を越え、新宮中央駅に乗り入れました。超高齢社会における買い物や通院のための移動支援、通勤や通学の利便性向上も意識し、私の市長就任後、古賀市は地域公共交通ネットワークを拡充しています。西鉄バス古賀市内線を基幹としながら、最新技術を活用したAIオンデマンドバス「のるーと古賀」の展開、ライドシェアや自動運転の導入も検討中。しっかり進めていきます。

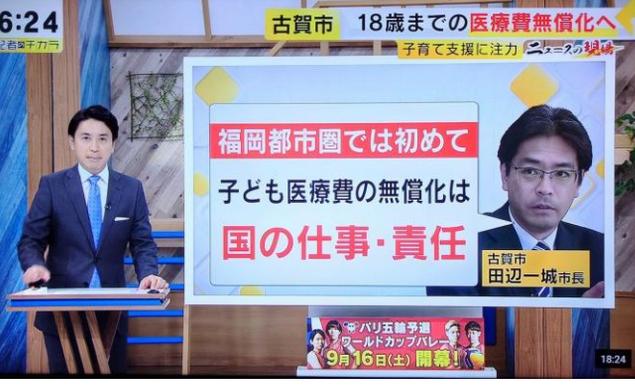
古賀市の取組は全国シェアリング大会で受賞するなど注目を集めています。



東京で開催されたシェアサミット2024。田辺もトークセッションで登壇

#### 田辺一城 (たなべ・かずき)

1980(昭和55)年5月16日生まれ/暁の星幼稚園、花鶴小学校、古賀中学校、福岡高校、慶應義塾大学法学部法律学科卒/2003年、毎日新聞に入社し、福井支局、大阪本社社会部/2011年から福岡県議会議員を2期務め、2018年11月に古賀市長に初当選、2022年11月に再選/妻と大学1年の長男、中学3年の長女/好きな音楽家は椎名林檎、東京事変、サザンオールスターズ、作家は夏目漱石と平野啓一郎、漫画家は手塚治虫/日課はウォーキングと筋トレ、家庭菜園、ぬか漬け



子ども医療費完全無償化を決断した直後の報道=TNCニュースから